



平成 29 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ナ ッ ク  
代 表 取 締 役 社 長 吉 村 寛  
(コード番号 9788 東証第 1 部)  
問 合 せ 先 ビジネスサポート本部長 川上 裕也  
(TEL. 03-3346-2111)

## 平成 29 年 3 月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 10 日に公表した平成 29 年 3 月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	92,000	2,000	2,000	800	47.24
今 回 修 正 予 想 ( B )	86,200	1,360	1,350	660	39.16
増 減 額 ( B - A )	△5,800	△ 640	△ 650	△ 140	
増 減 率 ( % )	△ 6.3	△32.0	△32.5	△17.5	
(参考) 前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	80,302	701	795	252	14.99

#### 2. 修正の理由

当第 3 四半期連結累計期間の実績に加え第 4 四半期連結会計期間の見通しを踏まえ、平成 28 年 5 月 10 日公表の通期連結業績予想を修正いたします。

業績予想の修正に至る主な要因となった住宅事業については、営業戦略の立て直しと消費税増税の駆け込み需要を想定し平成 29 年 3 月期においては業績の回復を見込んでおりました。

消費税増税が先送りとなる中で、株式会社レオハウスにおいては積極的な販売促進活動により第 2 四半期連結累計期間での受注数、受注残ともに前年同期比で増加しましたが、職人不足により着工や工期が遅れ第 4 四半期に予定していた完工が見込めず、売上高が当初予想を大きく下回る見込みです。損益面では、工事原価や販売促進費の増加により売上高営業利益率が下がりました。株式会社ジェイウッドの売上高は概ね当初予想どおり推移しているものの、積極的に出店し販売促進活動を展開したことにより営業赤字となる見込みです。その結果、売上高は当初予想 47,500 百万円に対し 43,400 百万円と予想を下回り、100 百万円の営業赤字 (当初予想 795 百万円) となる見込みです。

建築コンサルティング事業については、地場工務店の建築ノウハウに対する購買意欲が高まらずノウハウ販売の売上高が伸び悩みました。また、太陽光発電システムを中心とした建築部材販売では、産業用太陽光市場が縮小し、住宅用太陽光に市場がシフトしたことで住宅用太陽光の受注件数は増えているものの販売単価の減少により売上高が伸びませんでした。その結果、売上高は当初予想 6,800 百万円に対し、6,000 百万円と予想を下回り、営業利益は当初予想 1,050 百万円に対し 820 百万円となる見込みです。

また、第4四半期連結会計期間について、レンタル事業、クリクラ事業および通販事業については予想を上回り推移することを見込んでおります。各事業において地道な営業活動による売上高の増加に注力し、販売管理費の削減を推進しております。しかしながら、売上単価の大きい住宅事業における着工状況・受注状況、建築コンサルティング事業における売上高と営業利益の進捗から、その他の事業で補い切れない状況となっております。

以上を踏まえ、平成29年3月期の通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、平成29年3月期の配当予想について変更はありません。

以 上